

「まちづくり懇談会」提案書

団 体 名	小室地区連絡協議会
代 表 者	ふりがな： きし よしたか
	氏 名： 岸 美隆
市長と話し合いたいテーマ	①小室を 25 番目のコミュニティに ②北千葉道路計画の中で小室に国道 16 号とのランプ建設に関連して、小室駅南側通路設置及び周辺の都市計画及び、小室町全体の都市計画像について ③小室の貴重な遺跡を将来に顕彰できる方策
テーマ選定理由	小室は「船橋市の北の玄関」と歴代市長は申され、注目していただいてきましたが、船橋市民の多くは「小室」が船橋市だと知らない事実と、小室町民も意識をしてこなかったと感じている。40 周年記念冊子を市役所全部署に配布し注意を喚起した。この際、「北千葉道路」建設計画が具体化してきたことで、国道 16 号・464 号が交差する交通の要衝小室の将来像を話し合い、都市計画のマスタープラン更新を前に、市政に反映して欲しい船橋を代表する遺跡・遺物を後世にアピールしたい
提案項目①	小学校区域の小規模なコミュニティ「小室」を船橋市のモデルとして認めて欲しい
提案内容	平成 28 年 12 月 12 日付「小室地区連絡協議会設立審査開始のお願い」を船橋市長及び市自連協会長あて提出している。自連協では小委員会をつくり、検討をしていただいている。 小室は歴史が古く、元来の小室町民（第一世代）と 40 年前千葉ニュータウンで入居した第二世代、さらに、駅前再開発で 6 年前から入居が始まった第三世代が混住する将来性豊かな地である。40 年前から千葉ニュータウンが、コミュニティとしてのインフラを整備しており、住民も独立したコミュニティを意識することなく受け入れてきた。しかし、複雑な社会の中で住民が等しく行政サービスを受けるためには個別の自治会単位では格差が生じる懸念があるため、町単位の協議会が窓口になって調整役を果たすことが、最善と考える

提案項目②	千葉ニュータウンとして整備された街の再整備と船橋小室ランプ建設に伴う新たな都市計画
提案内容	北総鉄道で唯一南側の開発が行われていない小室駅に南側通路を設置し、国道 16 号・464 号交差のランプ建設を前に、南側一帯のまちづくりを船橋市の北の玄関にふさわしい内容にするよう市の都市計画で主導して欲しい（白井市ではマスタープランの一部見直しを進めている）
提案項目③	小室上台遺跡から出土した縄文時代の「バイオリン形土偶」や小室台遺跡の中で遺構から確認された船橋市唯一の前方後円墳など貴重な遺跡を将来とも誰にでも見える形で残したい
提案内容	2019 年度に、「前方後円墳出土跡地を記念公園に整備する陳情」を行い、二度にわたる継続審査の末、陳情地内に家屋が建設されたことから「取り下げ」したが、議員の皆様にも小室の遺跡が船橋を代表するものだとして理解していただいた。何としても貴重な遺跡出土地小室に、遺跡を顕彰して、将来に残す方策を地元と一体となって実現して欲しい

- ・申込みにあたっては、「まちづくり懇談会実施要領」をよくお読みください。
- ・本事業は市政に対する建設的な提案に対する意見交換の場です。苦情や要望、陳情等の場ではありませんのでご注意ください。

申込み・問合せ先

船橋市市長公室市民の声を聞く課

〒273-8501 千葉県船橋市湊町 2-10-25

電話：047-436-2784（直通）

FAX：047-436-2789

E-Mail：shiminokoe@city.funabashi.lg.jp